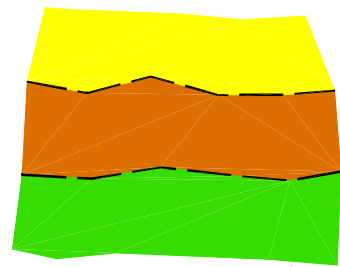


# 地質図・断面図 図化練習用課題

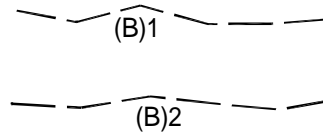
## 図化する地質図



(A)前準備

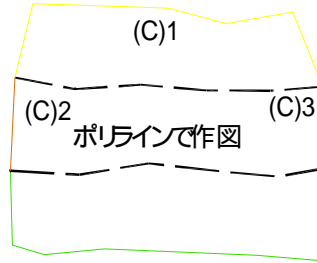
画層設定、色、線種設定、文字種設定

(B)地質境界を線引  
ポリラインで作図



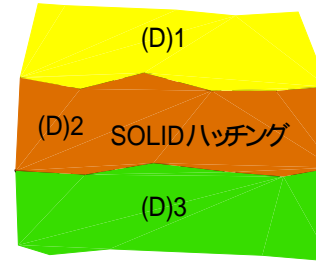
(B)3 線幅の設定変更

(C)地質毎の領域作図

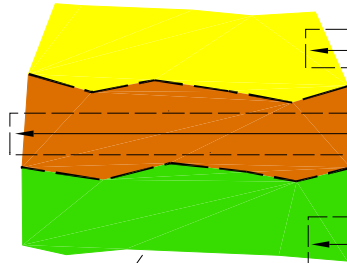


地質図完成

(D)地質別に着色



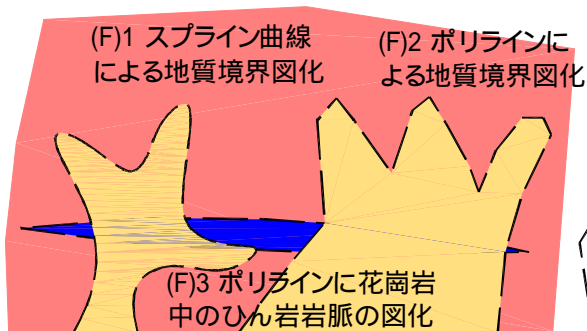
(E)表示順序の変更



ハッチングとその境界を最背面に配置し、地質境界を上部に配置

右から左にドラッグして選択

## 地質境界の図化とハッチング手法のバリエーション



(G)2 広い崖錐領域上に、窓状に基盤岩が露出する場合、内包する地質境界を島として除外ハッチング。  
地質境界が錯綜するので点指定で島除外できない。そこで空白域でハッチングして元の位置に移動

(G)1 互層状基盤岩の図化、砂岩地質境界、粘板岩の外周境界、砂岩ハッチング、粘板岩ハッチング、の順に作図

地質記号

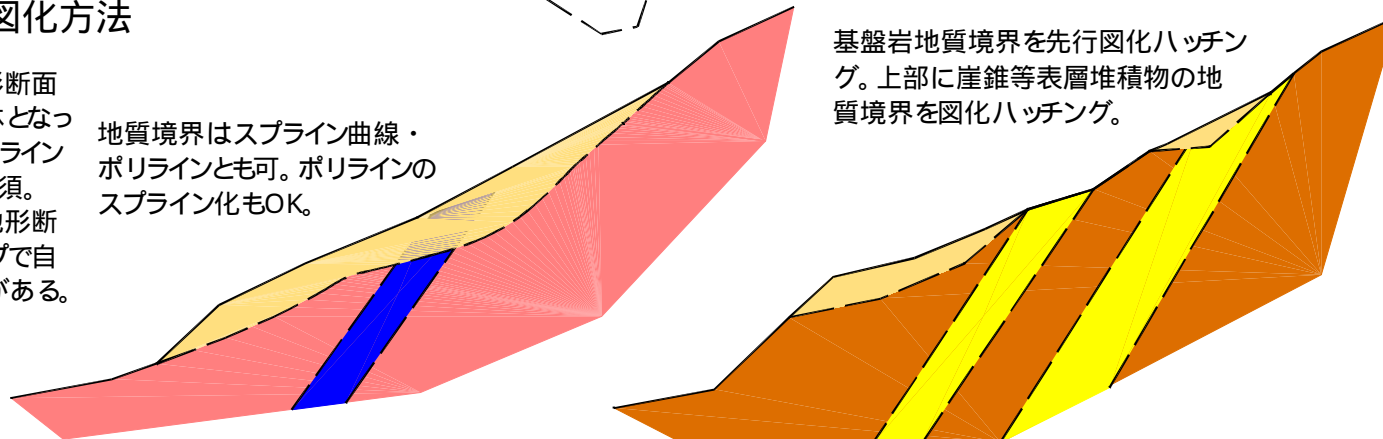
地質記号に対する点指定ハッチング結果。テキスト枠も島除外の対象となり非透過状態。

## 地質断面図の図化方法

測量CADからの地形断面線は単一線分の集合体となっている場合が多く、ポリラインに接合しておくことが必須。  
地質境界の端点は地形断面線の端点に0スナップで自動吸着させておく必要がある。

地質境界はスプライン曲線・ポリラインとも可。ポリラインのスプライン化もOK。

基盤岩地質境界を先行図化ハッチング。上部に崖錐等表層堆積物の地質境界を図化ハッチング。



## 線種尺度設定の例

ACAD_ISO02W100(破線1)	線種尺度 1
	線種尺度 0.5
	線種尺度 0.25
ACAD_ISO03W100(破線2)	線種尺度 1
	線種尺度 0.5
	線種尺度 0.25
ACAD_ISO07W100(点線)	線種尺度 1
	線種尺度 0.5
	線種尺度 0.25